

第8回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

(開催要領)

開催日時：平成22年9月8日(水) 14時00分～14時30分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 30名 出席委員 21名

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、内藤会長の挨拶があり、引き続き、直方市長の代理として梶原副市長より挨拶がある。その後、内藤会長が議長となり、議事に移る。

(1)平成21年度 事業報告・収支決算について

事務局より、平成21年度 事業報告が下記の通り行われた。

【平成21年度 事業報告】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 経済産業省のまちづくり会社支援事業の活用
3. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成21年度直方市中心市街地活性化協議会決算書について報告された後、豊田監事より監査報告がなされた。議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なくこれを承認した。

(2)平成22年度 事業計画(案)・収支予算(案)について

事務局より、平成22年度 事業計画(案)について説明が下記の通り行われた。

【平成22年度 事業計画(案)】

1. 直方市中心市街地活性化協議会の開催
2. 中心市街地商業活性化基本計画の事業評価
3. 民間事業への支援
4. 中心市街地活性化事業への支援

引き続き、事務局より、平成22年度収支予算(案)について提案がなされ、議長は、本件について可否を問うたところ、一同異議なく承認された。

(3) 中心市街地活性化事業の進捗状況及び効果の検証について

直方市役所 産業振興課 森本課長より、以下の主な事業の進捗状況について報告がなされた。

JR 直方駅及び駅前広場の整備については、新駅舎が平成23年2月に完成予定、駅前広場の整備は新駅舎完成後に着工される。須崎町土地区画整理事業及び筑豊病院移転事業については、土地区画整理は事業費ベースで64%の進捗率、筑豊病院移転は、移転計画は進んでいるが開業時期については未定。もち吉ビルリニューアル事業については、コミュニティ FM 事業は断念、チャレンジショップ事業の実施内容を検討中。何かある商店街事業については、B級グルメに特化した大規模イベントへの変更を計画中。のおがたレトロタウン整備事業については、文部科学省の伝統的建造物群保存修理等事業により調査事業を実施。民間事業者と文化施設の連携事業につい

ては、ギャラリーのぐちと直方谷尾美術館とで先行して共同割引券時事業を実施。街なか回遊環境の整備事業については、「ゆた〜っと直方まち歩き」「のおがた散歩」等のまち歩きマップの作成、「ゆた〜っと直方節句まつり」を開催した等、現状の進捗状況について報告がなされた。

事業効果の検証について、これらの事業実施により、目標①の「中心部の都市機能を強化し、利便性を高めることによる賑わいの向上」（指標：歩行者・自転車通行量）について、平成 25 年度目標値 8,430 人／日に対して、平成 21 年度実績 8,022 人／日、平成 19 年度から 3.0%増、平成 21 年度のトレンド値より 1,040 人／日が増加した。また、目標②の「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による交流人口の増加」（指標：街なか文化施設利用者数）については、平成 25 年度目標値 42,400 人／年に対して、平成 21 年度実績 43,441 人／年、平成 19 年度から 4.7%増と、既に平成 25 年度目標値を 1,041 人／日超過したとの報告がなされた。

本報告に対して、以下のとおり質疑応答が行われた。

【質疑内容】

- Q. 現在の直方駅舎内に設置されている直方の物産展示及び筑豊美術協会の展示スペースは新駅舎が完成したらどうなるのか。また、新駅舎が完成したら何か記念事業みたいなものを行うのか。
- A. 展示スペースについては、今後検討課題として JR 九州と調整していく。
- Q. 筑豊病院移転事業について、開業時期は未定との説明だったが進出はいつ頃になりそうなのか。
- A. 進出を前提に話を進めているが、進捗状況で説明したとおり、時期についてはまだ未定である。

以上により、議事が終了したので 14 時 30 分閉会した。